

～SDG sわたしたちにできること～山の恵みは海の恵みー物部川流域ー

関連イベント「子どもシンポジウム」が開催されました！

日時：令和5年8月20日（日）午後2時～3時

場所：県立のいち動物公園どうぶつ科学館1階シアター前

主催：（公財）高知県のいち動物公園協会

共催：三嶺の森をまもるみんなの会、物部川21世紀の森と水の会

協力：四国森林管理局、高知林業大学校、香美市こどもエコクラブ

7月15日（土）から9月3日（日）までの期間、高知県立のいち動物公園どうぶつ科学館1階シアター前で、SDG sに対する理解を深めることを目的に、物部川流域の自然と人々の営みに焦点をあてた企画展を開催しています。この取組の一環として、8月20日（日）、同会場で「子どもシンポジウム」が開催されました。

アドバイザーの三嶺の森をまもるみんなの会の押岡氏から「シカ害で傷んだ物部川流域・三嶺の自然と再生活動」と題した基調講演をいただいた後、香美市こどもエコクラブに所属する高校生2人と、高知商業高校ジビエ部の5人の生徒さんがそれぞれの活動について、プレゼンテーションを行いました。香美市こどもエコクラブは、物部川流域のみやびの丘で森林保全啓発活動などを続けています。以前に植樹した苗の生育を毎年確認することが楽しみであることや貴重な体験の機会を得て嬉しいと感じていることなどの感想がありました。高知商業高校ジビエ部の皆さんは、ジビエ利活用を通じた森林保護のため使命感を持って商品開発や販売に取り組んでいる様子を発表されました。

最後には会場の皆で、きっかけを元に行動していくことの大切さについて意識共有し、記念撮影をして終了。

帰りには、ジビエ部の皆さんから来場者の方へメッセージつきシカ角のキーホルダーのプレゼントがありました。また、会場の外で開催されたシカ肉のペットフード用加工品の紹介・販売には、訪れた方が関心を持って手に取る様子がみられました。



